最大受信ユニット設定のサポート

- 機能の概要と変更履歴 （1 ページ）
- 機能説明 （2 ページ）
- 機能の仕組み （2 ページ）
- MRU 機能の設定 （2 ページ）

機能の概要と変更履歴

要約データ

該当製品または機能エリア	• P-GW • SAE-GW • S-GW
該当プラットフォーム	ASR 5500
機能のデフォルト	無効：設定が必要
このリリースでの関連する変更点	N/A
関連資料	• *Command Line Interface Reference* • *P-GW Administration Guide* • *SAEGW Administration Guide* • *S-GW Administration Guide*

マニュアルの変更履歴

改訂の詳細	リリース
最初の導入。	21.24

機能説明

MRU 設定がサポートされる前は、最大受信ユニット（MRU）の設定は最大伝送ユニット（MTU）の設定と同じでした。

S1-U インターフェイスの eNB の MTU が 2000 バイトに増やされましたが、SAE-GW の S1-U インターフェイスの MTU には変更が加えられず、1500 バイトを超えるサイズのパケットが SAE-GW で受信されました。その結果、これらのパケットは、SAE-GW の S1-U インターフェイスにおいて **Lport_MRU_exceeded** 例外でドロップされました。この動作は、IKE トンネルを設定しようとしている UE に影響を与えました。

この MRU 設定機能を使用して、MTU とは別に MRU を設定できます。

機能の仕組み

MTU とは独立して MRU を処理するために、ネットワーク処理ユニット（NPU）、NPUSIM、NPUMGR、および CLI に変更が加えられます。

MRU 機能の設定

このセクションでは、インターフェイス設定で **ip mtu** キーワードを使用して、MTU とともに IP インターフェイスの MRU を設定する方法について説明します。

MRU の設定

イーサネット インターフェイス構成モードで MTU と MRU を設定するには、次の設定例を使用します。

```
config
  context context_name
    interface interface_name broadcast
    ip mtu mtu_size [ mru mru_size ]
    end
```

注：

- **ip mtu** *mtu_size*：MTU サイズを指定します。*mtu_size* は、5762048 バイトの範囲の整数である必要があります。
- **mru***mru_size*：MRU サイズを指定します。*mru_size* は、5762048 バイトの範囲の整数である必要があります。
- MTU 設定を無効にするには、**no ip mtu** コマンドを使用します。
- MTU に設定できる最大値は 2048 バイトです。MTU が設定されていない場合、デフォルト値は 1500 バイトです。

- MRU 属性はオプションであり、設定されていない場合、MRU は MTU と同じ値に設定されます。
- オプションの MRU 属性は、VPC-DI および VPC-SI プラットフォームには適用されません。この属性は ASR 5500 にのみ表示されます。
- CUPS または ICUPS で、インターフェイスで MRU を設定しようとすると、次のエラーが表示されます。

  ```
  Failure: Configure MRU Feature is not supported when ICUPS/CUPS is
  enabled!
  ```

- 同一インターフェイス上で非対称の MTU 値および MRU 値を設定できますが、ネットワーク上で望ましくない動作を引き起こす可能性があるため、推奨できません。

MTU が指定されていない場合の MRU 機能の設定

MTU = デフォルト MTU、MRU = デフォルト MTU

次に例を示します。

```
configure
   interface SGi-VLAN400
     logical-port-statistics
     ip address 172.26.96.3 255.255.255.248
     ipv6 address 2600:300:2030:1104::3/64 secondary
     bfd interval 300 min_rx 300 multiplier 3
     #exit
#exit
```

MRU が指定されていない場合の MTU 機能の設定

MRU = 後方互換性のために設定された MTU。MRU = MTU = 1,970 バイト。

次に例を示します。

```
configure
   interface SGi-VLAN400
     logical-port-statistics
     ip address 172.26.96.3 255.255.255.248
     ipv6 address 2600:300:2030:1104::3/64 secondary
     ip mtu 1970
     bfd interval 300 min_rx 300 multiplier 3
#exit
```

MTU と MRU の両方が指定されている場合の MTU 機能の設定

MTU = デフォルト MTU、MRU = デフォルト MTU

次に例を示します。

```
configure
   interface SGi-VLAN400
     logical-port-statistics
     ip address 172.26.96.3 255.255.255.248
     ipv6 address 2600:300:2030:1104::3/64 secondary
     ip mtu 1600 mru 1700
     bfd interval 300 min_rx 300 multiplier 3
#exit
```

設定済み MRU の確認

設定された MRU 値を表示するように、出力が強化されました。

次に例を示します。

```
[EPC2]26kl-chassis# config
[EPC2]26kl-chassis(config)# context EPC2
[EPC2]26kl-chassis(config-ctx)# interface TO-EPC2-SGW-INGRESS
[EPC2]26kl-chassis(config-if-eth)# ip mtu 1500 mru 1970
[EPC2]26kl-chassis(config-if-eth)# end
[EPC2]26kl-chassis# show ipv6 interface
Intf Name: TO-EPC1-SGW-INGRESS
Intf Type: Broadcast
Description:
VRF: None
IP State: UP (Bound to 5/20 vlan id 190, 802.1P prior 0, ifIndex 85196802)
Router Advertisement: disabled MTU: 1500 MRU: 1970
IPv6 Link-Local Address: fe80::d272:dcff:fea3:8543/64
IPv6 Global Unicast Address: 2001::1:21/64
L3 monitor LC-port switchover: Disabled
Number of Secondary Addresses: 5
IPv6 Address: 2001::1:31/64
IPv6 Address: 2001::1:205/64
IP Address: 10.10.10.21 Subnet Mask: 255.255.255.0
IP Address: 10.10.10.31 Subnet Mask: 255.255.255.0
IP Address: 10.10.10.200 Subnet Mask: 255.255.255.0
```

注：

- 設定可能な MTU の設定が有効か無効かを確認するには、**show ipv6 interface** コマンドを使用します。
- **no ip mtu**：設定可能な MTU の設定を無効にします。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。